



Cost Management Service 2022

Cost Explorer によるコストの可視化

Cost Explorer を使用したコストの可視化と理解

Cost Management Service 2022 Cost Explorer によるコストの可視化

Cost Explorer を使用したコストの可視化と理解

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Visualizing_your_costs_using_cost_explorer.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

このガイドでは、インタラクティブな Cost Explorer を使用した Cost Management の方法について説明します。

目次

第1章 COST EXPLORER の使用	3
1.1. COST EXPLORER について	3
1.2. COST EXPLORER を使用したコストデータのフィルタリング	3
1.3. コストデータのエクスポート	4

第1章 COST EXPLORER の使用

Cost Management Cost Explorer では、時間軸でコストを確認することができます。Cost Explorer を使用すると、支出をフィルタリングして質問の答えを見つけたり、詳細を見たり、データの傾向を調べたりできます。

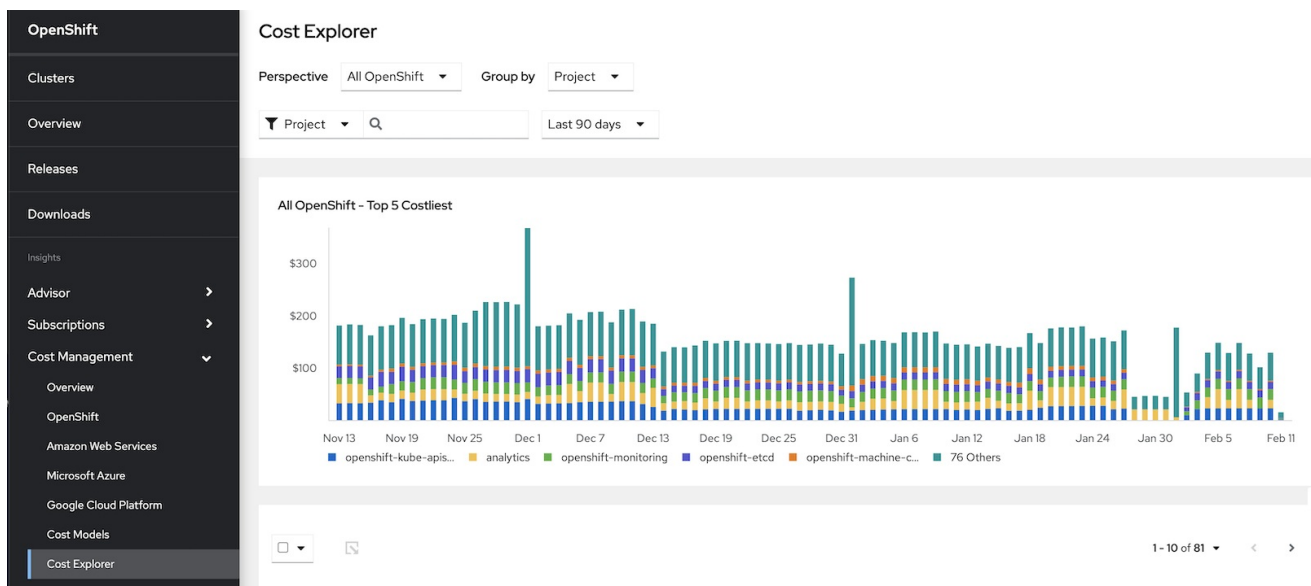
1.1. COST EXPLORER について

Cost Management [Cost Explorer](#) を使用すると、最大 90 日分のコストと使用状況の情報を含むカスタムグラフを作成し、コストをさらに視覚化し、解釈することができます。

Cost Explorer を使用すると、以下を行うことができます。

- 異常なイベントを特定する。
- 時間の経過とともにコストデータがどのように変化するかを理解する。
- コストと使用状況データのカスタムバーチャートを作成する。
- カスタムコストデータファイルをエクスポートする。

図1.1 Cost Explorer のインターフェース



Cost Explorer チャートの1本のバーは、フィルターされたオプションに対応する1日分のコストおよび使用状況データを表します。最も重要な5つのメトリックスは個別に表示され、その他のメトリックスは **Others** カテゴリに分類されます。コストおよび使用状況データのフィルタリングに関する詳しい情報は、「[Cost Explorer を使用したコストデータのフィルタリング](#)」を参照してください。

1.2. COST EXPLORER を使用したコストデータのフィルタリング

[Cost Explorer](#) でフィルターオプションを使用して、表示するデータをカスタマイズできます。

この例では、過去 90 日間の Open Shift Container Platform プロジェクトに関連するコストを確認する方法を示しています。

前提条件

- Cost Management データソースとして追加されている OpenShift クラスター。手順は、[OpenShift Container Platform ソースのサブスクリプション管理への追加](#)を参照してください。
- Cost Management データソースとして追加されたクラウドインフラストラクチャーアカウント。クラウドプロバイダータイプの手順は、[Cost Management へのソースの追加](#)を参照してください。

手順

1. [Cost Explorer](#) から **Perspective** を選択します。例えば、**All Open Shift Cost** を選択すると、OpenShift の累積コストが表示されます。
2. グループ化を選択します。例えば、OpenShift Container Platform では、**Project**、**Node**、**Cluster**、**Tag** でグループ化できます。他のパースペクティブビューでは、**Group by** オプションが随時変更されます。
3. 必要に応じて、1つまたは複数の **Projects**、**Nodes**、**Clusters**、または **Tag** を名前で指定します。
4. **Last 90 days** を選択して、過去 90 日間のコストデータを表示します。
5. これらのステップを他のパースペクティブやグループ分けで繰り返すことで、コストをより深く理解することができます。

次のステップ

データをフィルターリングした後、CSV ファイルにエクスポートすることができます。詳細は、「[コストデータのエクスポート](#)」を参照してください。


1.3. コストデータのエクスポート

[Cost Explorer](#) を使用して、カスタマイズされたコストデータの CSV ファイルをローカルワークステーションにエクスポートします。これらのファイルには、必要なレポートツールに適用できるコストデータの詳細情報が含まれます。

前提条件

- Cost Management データソースとして追加されている OpenShift クラスター。手順は、[OpenShift Container Platform ソースのサブスクリプション管理への追加](#)を参照してください。
- Cost Management データソースとして追加されたクラウドインフラストラクチャーアカウント。クラウドプロバイダータイプの手順は、[Cost Management へのソースの追加](#)を参照してください。

手順

1. [Cost Explorer](#) アプリケーションに移動します。
2. Cost Explorer のフィルターオプションを使用して、必要な情報を作成します。
3. Cost Explorer グラフの下に表示される一覧で、エクスポートする項目を選択します。
4.  **Export** ボタンをクリックします。

5. **生成してダウンロード** をクリックします。
CSV ファイルがローカルシステムにダウンロードされます。